

## 施策評価調書(27年度実績)

政策体系	施策名	ネットワーク・コミュニティの構築	所管部局名	企画振興部	施策コード	I-7-(2)
	政策名	地域社会の再構築	関係部局名	企画振興部、土木建築部	長期総合計画頁	71

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	ネットワーク・コミュニティづくりの推進	小規模集落対策の推進	生活交通の確保・維持	ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落)	①②③④	-	-	300	302	100.7%	1,500	1,500					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	県内各地域において地域で活動する組織や団体がネットワーク・コミュニティ構築に向けて取り組んだことにより、目標値を達成した。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・買い物代行サービスや耕作放棄地の耕作受託及び農園化の検討などの集落のネットワーク構築支援委託事業をモデル的な13地区で実施し、各集落のネットワーク化に向けた動きが加速した。
②	・振興局単位で地域おこし協力隊連絡会議を立ち上げ、小規模集落対策の推進体制を強化した。
③	・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を、関係市やバス事業者と連携しながら大分北部地域、豊肥地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善に努めた。
④	・豪雨災害による通行止めなどで、集落が孤立する恐れがある区間について、道路のり面対策を実施した。 ・地域の身近な道路への要望に対し、既存の道路敷を利用して歩道幅員や路肩の拡幅など小規模な工事を行い、機能向上を図った。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	くらしの和づくり応援事業	57,150	A	継続・見直し	9
②	小規模集落・里のくらし支援事業	85,312	A	継続・見直し	10
③	生活交通路線支援事業	94,446	A	継続・見直し	11
④	身近な道改善事業	862,000	A	継続・見直し	166

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○連合大分「2015予算編成に関わる要請」(H27.10)</p> <p>・交通シビル・ミニマム(生活基盤最低保障基準)維持の観点から、国や県で取り組む旧市町村をまたぐバス路線への負担基準の引き下げを行うと共に、県民生活に必要な地域公共交通に対して助成を行い、路線を維持・確保すること。</p> <p>○大分県政共闘会議「2015年度県当初予算に関する要求」(H27.11)</p> <p>・高齢化が進行する中で、公共交通の利用状況の実態を把握し、移動弱者対策を講じること。</p>	<p>○第2回大分県新長期総合計画策定県民会議 (H27. 6)</p> <p>・農村・漁村部が抱える現状が、環境問題へと派生していることを感じる。例えば、高齢化・過疎化に伴い、土地を手放す人が増加しているが、その土地は、貴重な動植物の生息地、水源、美しい景観の一部であるため、環境を守るには土地そのもの、そして人そのものを守らなければならない。</p>
--	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・くらしの和づくり応援事業および小規模集落・里のくらし支援事業については、28年度から実施する集落実態調査を活用しながら、住民による集落対策の検討及び計画的な事業実施を行う。</p> <p>・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を、関係市やバス事業者と連携しながら大分北部地域、豊肥地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善に努めた。今後は、県内各地域(県南部、県西部、県東部)で策定を行う。</p>